



ANNUAL REPORT 2017

私たちが実現したい社会は

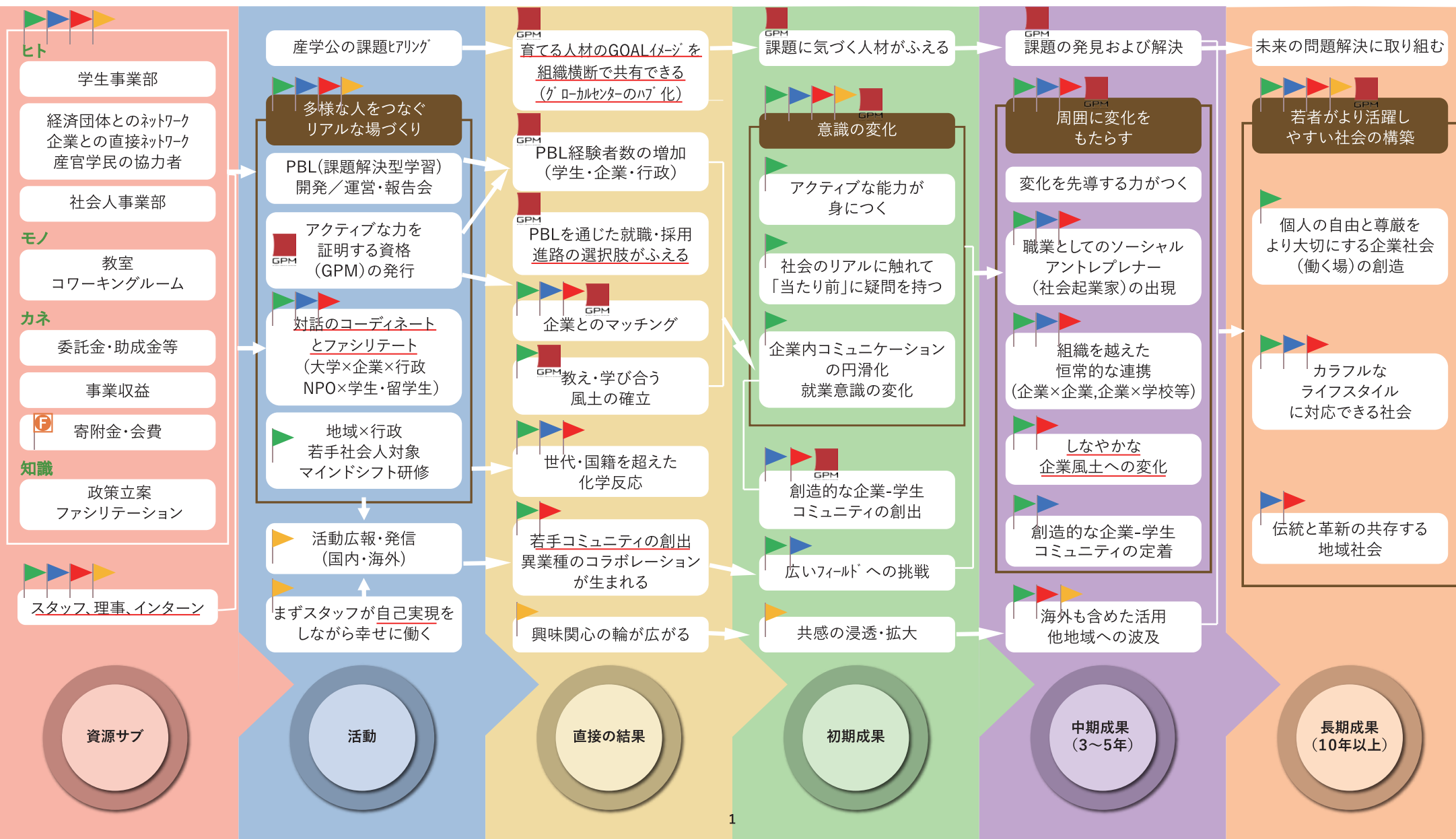
「グローバル人材」を育成することで、ひとりひとりが

イキイキと暮らしながら、新しいスタンダードを創っていくことができる社会。

変化する社会の中で取組は日々進化中!活動の指針は、今ある資源から未来を描くのではなく、
実現したい未来から今すべきことを組み立てる「バックキャストिंग」で、必要なステップを考えて事業を作成しています。

Pickup事業紹介

- ▶ P.2 スタッフ紹介
- ▶ P.3 グローカルファンの集い/
ファンレイジング部の活動/寄附のお礼とご報告
- ▶ P.5 グローカル人材を育てる PBL・アクティブラーニングプログラム
- ▶ P.6 異業種合同研修「GLOCALSHIFT CAMP
(グローバルシフトキャンプ)」実施
- ▶ P.7 留学生の就職支援マッチングサイト「ハタ洛」WORK in KYOTO
- ▶ P.8 若者の声が届くまちづくり「京丹後未来ラボ」



中谷真憲 NAKATANI MASANORI
専務理事・事務局長



京都産業大学法学部教授として教鞭をとり、世界問題研究所の研究者としても活躍しています。その傍ら、グローバルセンターの少し先の未来を見据えて奔走。若者の未来の話をしている笑顔は最高！
山のように穏やかな存在感でスタッフを見守ります。

大橋かなで OHASHI KANADE
財務主任



目指すは「就職のミスマッチをなくすこと！」
仕事は分かりやすく細やかに丁寧に！
イレギュラーなことにも柔軟に対応し、コーディネーター達を支えてくれる縁の下の力持的存在です。

肥後祐亮 HIGO YUSUKE
グラフィッカー・コーディネーター



志は世界調和。「自分自身を幸せに、そして周りの人を幸せに…」が口癖のムードメーカー。
“タオルマン”として会議での議論をグラフィックとともに促進・記録する「グラフィッカー」高校での授業「人間力講座」、「京丹後未来Lab」を担当し、日々、これからの生き方を探求中です。

木下京介 KINOSHITA KYOSUKE
コーディネーター



持続可能な社会を目指すため、すぐ自分でアクションが起こせる当センターに新卒で入社。(吸収力が半端ない)新しいことはすぐやる実験家!!得意なことはチームビルディング・組織開発・ワークショップ開発。担当は「グローバル人材育成事業」学生×企業PBL。1人でいくつものプロジェクトをまわす凄腕です。

仲田匡志 NAKADA MASASHI
事務局長代理



おしゃべり大好きグローバルセンターのまとめ役！
夢は「仕事探しが楽しいと思ってもらえる社会を！」後輩たちのために社会を変えていきたいとグローバル入社しました。
1人1人がいつも楽しく働けるように考える彼の周りには、笑顔が絶えません。

行元沙弥 YUKIMOTO SAYA
専務理事付渉外



設立メンバーの一人。
ピカソのように自分の目で世界の見方を獲得することが夢。組織と世代をつなぐことがミッション。
パワフルに、楽しく、「新しい組織のあり方・働き方」などをテーマにワークショップや研修の企画・設計をしています。
「逆は真なり」がモットー。

西沢美枝子 NISHIZAWA MIEKO
総務



グローバルセンターのお母さんの存在。
時間は有限！
お仕事はズバツと効率化!!
仕事とは「人の役に立つこと…」
をモットーにチャレンジ精神は若い人にも負けてません。

山田埜 YAMADA HILA
コーディネーター・ヒラ SHINE



イギリス英語の発音は日本ー!!オフィスではネイティブ英語が日常的に飛びだします。
留学生支援やEnglish講座などを担当。
夢は「歴史に名を残すこと!!」
ON/OFFのギャップに心奪われます。

岩崎 由奈 IWASAKI YUNA
コーディネーター

私が取材しました!



グローバルに入ったのは「きっかけづくりがしたかったから」
今のやりがい、他のスタッフや学生の成長のサポートができること!
学生PJコーディネーター、Instagram等SNSでの活動発信、調査、レポート、庶務などオールマイティにこなすスマートはんなり女子です。

スタッフ紹介 VISION2.0 「若者ひとりひとりが 自分の色を活かせる カラフルな社会」を目指して。

外崎 佑実 TONOSAKI YUMI
グラフィッカー・コーディネーター



人の要望や思いを形にすることが好き。
グラフィックレコーディングで皆さんの思いを描きます。
周囲に活き活きとした笑顔が増えること、場所にとらわれず地元弘前市の未来に関わることがしたい!「京丹後未来Lab」、大学間連携(GPM)事業などを担当しています。

F 寄付のお礼とご報告

2017年度のご寄附(賛助会費含む)の総額は、皆様からの温かいご支援を受け、

168件 3,977,050円

となりました。

左記のご寄附は、学生×企業・団体のプロジェクトをはじめとする若者の育成活動やまたその活動を支える当法人の運営費として大切にに使わせていただいております。

<内訳>・賛助会費 3,113,000円(法人:53件、個人:21件) ・寄附金 864,050円(94件)



ご支援いただき、ありがとうございました!

学生のミーティングスペースやイベント会場を借りることができました!

2018年4月のオフィス移転に伴い、机、椅子、キャビネットなどを購入し、より良い環境でグローバル人材を育てています!

世代や組織を超えた多様な出会いの機会を作ることができました!

グローバルスタッフ研修において外部講師を招聘し、ファシリテーションなどの手法を学び、事業を通じて社会に還元しています!

参考図書、教材を買って学生やスタッフの知識を深めることができました!

Q グローカルセンターでの活動前と活動後の変化について、どんな活動を経てどう変わりましたか?

A. 奥谷 勇哉(花園大学3回生)

参加前はバンド活動に熱中し、特定の人間のみ関わっており、他者の声や意見よりも自分を一番に考えていました。3回生の10月に留学生支援プロジェクトに参加して、そこで同年代の他大学の学生とミッションに対して真剣にミーティングを重ねて取り組んでいく楽しさと、話し合うからこそ生まれる意見の相違や行き詰まりを打開するための工夫(プレストなど)を知ることができました。参加後は、現在十人十色違う性格・考え・価値観の多様さを知りたいという思いから、人と接する機会を積極的に求めるようになり、ミーティングの際はもちろん、生きていくためにも自分の軸と哲学が必要だと感じ、知識と世界を広げることも兼ねて、読書を生活に取り入れるようになりました。



A. 張琬洵(京都大学交換留学生)

今回「ドローンと社会貢献」に関する課題解決プロジェクトに参加してみたら私は色々な経験を積みました。このプロジェクトの過程で、いいアイデアを提出できなくて困ったこともあります。しかし、最後までみんなと一緒にプレゼンテーションができました。最後の提案は色々な改善すべきところがあるが、やっと現実に近くなりました。この経験を通じて、成功する可能性は低くても、頑張れば、だんだんうまくいくようになってくるということが分かりました。成功できるかどうか知らなくても、最後まで挑戦して、自分もその過程から成長することができる。ですから、このプロジェクトを通して、私にはできなさそうだと思うことに挑戦してみるように心がけてきました。きっと最後まで、自分も貴重な経験と感想を得ると信じています。



F グローカル ファンの集い/ファンドレイジング部の活動

グローバルセンターに関わる全ての人に贈る、

ファンの集いとは？

理事、企業人、学生、社会人事業部、スタッフが一堂に集い、食事をしながらフラットな形で話し合う場です。

なぜファンの集い？

- GC(グローバルセンター)に関わる人の横断的な交流の場
- GCの理念である京都を支える人材の育成のための意見交換の場
- GCの活動の認知拡大
- GCファン獲得のためのワクワク作戦会議の場

学生と社会人の間にある認識、スキル、マインドのギャップを見つけ出し、共通する価値観を紡ぎだしていくことで雇用のミスマッチに見られる、様々な学生と社会の間にあるギャップを創造的に解決していく場を目指しています。

2017年度の実施について

実施回数:5回

参加者:のべ162名(社会人98名 学生64名)

第6回 5/29(社会人14名・学生11名)

第7回 6/30(社会人5名・学生10名)

第8回 10/27(社会人17名・学生11名)

第9回 12/15(社会人45名・学生16名)

第10回 3/16(社会人17名・学生16名)

※12月はグローバルセンター設立5周年記念パーティーとして開催



ファンドレイジング部でもファンの集いの企画、進行、勉強会への参加等、学生メンバーが活躍！

ファンドレイジング(fund-Raising)とは？

主にNPO(民間非営利団体)が活動のための資金を集める行為の総称で、狭義には寄付金によるものを指します。

グローバルFR部では、サポーターの皆さまが取り組みに共感し、ファンになって応援したくなる(ファン度を上げる)ことを大切にしたいと考えています。

概要

NPOの資金調達に関するファンドレイジングについて学び・実践しグローバルセンターの活動を持続可能なものにする。

2017年度の目標

認定NPO資格取得に向けて、年度内に寄付金額3,000円以上である支援者(寄付者・賛助会員)の数が200名以上となること。

成果とこれから

日本ファンドレイジング協会、NPO組織基盤強化コンサルタント河合氏による3ヶ月間の研修を受け、FRの基礎知識の共有、グローバルセンターの現状(強み、弱み、支援者とのつながり等)の可視化/計画評価等の実施、活動目的や目標のふりかえりなどを行いました。これを機にスタッフ間でFRに関するマインド・知識・スキルを学び、実践し、認定NPOに向けての呼びかけは期間終了直前に目標件数を達成することができました。

○担当者から一言

2017年はスタッフの中での勉強会も実施され、京都NPOセンター様の協力も得て自分たちのもつ資源を一つずつ洗い出していけました。その中で様々な形でサポートしてくださる皆さまの存在の大きさを改めて感じました。いつもご支援いただき誠にありがとうございます。



ファンの集いは不定期(1~2カ月毎)に開催しています。
サポーターの皆様にはメーリングリストでお知らせしております。
対話の場にぜひお越しください。



グローバル人材を育てる PBL・アクティブラーニングプログラム



地域職能資格

「グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)資格」とは？

経済界・企業が求める人材、特に京都やその近隣企業の将来の幹部候補になりうる「グローバルな視点で物事を考える能力を兼ね備えつつ、地域経済・社会(ローカル)の持続的な発展に情熱を注ぐ」人材に求められる能力を具体化した資格です。

NPO法人グローバル人材開発センターが資格発行機関となり、プログラムを実施する連携6大学で実施される所定の科目と、京都企業との連携で行われる「グローバル人材PBL」の受講により取得が可能となります。現在資格取得できる大学は、京都産業大学、京都橘大学、京都府立大学、京都文教大学、佛教大学、龍谷大学の6校。PBLはグローバルセンターでも受講可能です。

※文部科学省の補助事業として、2012～2016年度の間、京都産業大学が代表校となり実施されてきた大学間連携共同教育推進事業「産学公連携によるグローバル人材の育成と地域資格制度の開発」の事務局をグローバルセンターが引き継ぎ、事業継続されているものです。(一財)地域公共人材開発機構が認証機関となっています。

第5回グローバル人材フォーラム(2018年2月26日実施)

GPMプログラムで学んだ学生の成果報告と学生・企業人の対話・交流会、GPM資格取得者への証書の授与式が行われました。

次世代をつくる若者の育成に関心のある皆さまのご参加をお待ちしています！



プログラムで実践的な学びを得た学生を中心に、産官学の境界を超えて交流し、就職・採用や、更にその先の地域の未来と人材について話し合う場です。

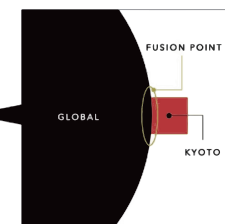


<http://glocalcenter.jp/gpm>

その他の
GPM
取得者の
声はこちら！

その他PBL・アクティブラーニング

- ・京都市受託事業「グローバル人財育成事業」のPBL
- ・京都産業大学附属高校KSUコース「人間力講座」



GPM取得者の声

大谷 太基

(京都府立大学4年生)

私がプロジェクトに参加して最も変化したと感じることは、日常的に社会のことを考え知ろうとする意識です。プロジェクトに参加してまず最初に痛感したことが、社会に対する関心も低く世の中の仕組みや流れに対して全くの無知であったことです。グローバルセンターのプロジェクトを進めるにあたって、時代の流れや京都の特色に対する理解といった社会に対する知識や関心は必要不可欠で、日々の中で意識的に社会の情報や、仕組みを調査するくせをつけるようになりました就職活動の際にも業界理解や企業理解、就職先の決定など様々な場面で、普段から関心をもって社会のことを調べたことが役立ちました。



▶ 異業種合同研修 GLOBAL SHIFT CAMP 実施

概要

リーダーシップ研修。特に20～30代の若手・中堅として働く異業種メンバーが自己変革と共創し、これからの働き方を学びあう場です。

- 1日目 7/21 「働き方が変わるたった一つの思考 ～ビジネスと禅～ 講師：松山大耕氏」
- 2日目 7/28 「なぜ問題は繰り返されどうすれば、問題は解決できるのか？」
- 3日目 8/4 「自分を変えるだけでなく組織そのものを変えるには何が必要なのか？講師：小柴美穂氏」
- 4日目 8/18 「あなたが今、本当に為すべきことは何か？」

最終日はチームに分かれ、学生に向けて学んだことを伝えるプレゼンテーションを行い、その後、学生とともにチームごとに未来の働き方がどのように変化するかを表現するショートムービーを制作。短時間でのチームビルディングとビジョンづくりのエッセンスをアウトプットしました。



2017年度の目標

変化の激しい時代において、自分自身を変革し仕事の分野を横断し異分野とつながり学びあうことで、社内変革を起こすリーダーシップをとり、他者と共に新しいアイデアを創り上げる共創のコミュニティをつくる。

成果とこれから

参加したメンバー同士が、キャンプ終了後連絡を取り合い、アフターファイブに学びあう場づくりを実施しました。また、学んだことを生かして、一方向的に話す朝礼から、社員全員が一言今の気持ちや状況を共有するように変えたところ、社内のコミュニケーションがより円滑に変化したという参加者や、この研修の仕組みを社内に活かして研修の抜本的な改革に取り組んでいる参加者がいます。

担当者より一言

新入社員、30代後半の中堅と職種も立場も様々なメンバーが集まりましたが、今までの考え方を柔軟に変えたメンバーとなかなか持論を変えられずに伸び悩んだメンバーも実際にいました。「答えのないこと」に関する対話の姿勢をより実感、実践できる仕組みづくりが今後の課題です。WEBサイト「INFORMATION」に参加者レポート掲載中！



留学生の就職支援マッチングサイト「ハタ洛」WORK in KYOTO

概要

日本で学ぶ外国人留学生の内、卒業後に日本で就職を希望する割合が6割以上に上るそうです。しかしながら、実際に日本国内で就職した留学生は3割程度※となっているそうです。

グローバルセンターでは、2015年より留学生の就職支援をスタートし、これまでに500人以上の就職のサポートを行ってきました。また、2017年度は京都市からの受託事業として、留学生と京都企業のマッチングサイト「ハタ洛」を開設しました。本サイトでは、外国人材を採用している企業が一目でわかるようになり、互いにメッセージのやり取りを行いながら、理解を深める場となっています。その他にも、大学コンソーシアム京都の留学生支援事業の一環として、留学生と日本人学生の就職支援コミュニティ「Career Café Compass(キャリアカフェコンパス)」を形成しました。日本での就職の仕方やキャリア形成について、対話を通じて学び考える空間となりました。 ※日本学生支援機構の調査より

2017年度の目標

京都で学ぶ外国人留学生が、自身のキャリアを考えながら企業と出会い、いいマッチングを目指す。

成果とこれから

マッチングサイト「ハタ洛」が開設されました。

今後は、大学の国際課やキャリアセンターなど留学生と直接関わる部署との連携を強化し、留学生のニーズをつぶさに捉えながら、具体的な支援展開を行います。また、企業の外国人材の採用においては、中堅中小企業を中心にヒアリングを行い、良質なマッチングのための企業の魅力発信や交流の場の提供を進めます。

外国人材採用実績のあるハタ洛登録企業A社社長のVOICE

【留学生採用におけるアドバイス】

留学生だから、日本人だからという隔たりは無いと思っています。もちろん、育った環境や国の文化、宗教、生活習慣など異なることはあります。ですが、異文化を取り入れる柔軟さ、これは日本に絶対必要だと思うんです。異文化を上手く取り入れ日本は変わらなくてはいけません。そして、海外の方も日本のいいところを取り入れてもらえるとお互いにとってハッピーですね。そういう考え方を持つと何もしないリスクではないですし、大きなハードルでもないと思います。みんな同じ人間ですので！



WEBサイトにはその他、京都企業に就職した元留学生の声・留学生を採用した企業の声も掲載しています。



「ハタ洛」
で検索！



若者の声が届くまちづくり 「京丹後未来ラボ」

概要

京丹後市では第2次京丹後市総合計画「基本計画」の重点的な取組みとして若者が希望に“輝く”“おもしろい”まちづくりが進められています。

京丹後市より受託された本事業では新たなビジネスの創出と市民先行の政策提言の機会創出を活動の2つの柱として、市の未来を担う若者世代発のアイデアの創発や実践を行う場をコーディネートしています。

2017年度の目標

市民の方が持つ(ビジネス)アイデアの掘り起こしと実現、地域の中核となるメンバーの活躍を市民に発信し印象付ける。

成果とこれから

実施回数： 9回

参加者：のべ147名

- ①活動の中心となるメンバー(市の未来を担う若者世代)
- ②その他市内からの傍聴参加者
- ③市外からの参加者

京丹後市内でのチラシの全戸配布、SNSでの広報と活動報告、メディア取材(ケーブルテレビ、市の広報誌掲載)などを通じて認知度が向上しました。

認知度が上がる一方で「意識の高い場」と感じられる方が多いことも明らかになりました。

2年目となる2018年度は

- ・京丹後に暮らす人、関わる人にとっての参加の意義がより明確であり
- ・より多様な参加者が参加しやすく
- ・これまでに生まれたビジネスの成長と新しいアイデアの発芽を促すような場としかけづくりを目指します。



「京丹後未来ラボ」で検索!

Facebookページ

@kyotangomirailab

<https://www.facebook.com/kyotangomirailab/>

担当者より一言

既に地域で何かを始めている方だけでなく、自分の中にあるアイデアを形にされた方もいらっしゃいました。今後も、より多くの市民の方が主役となって輝けるような機会づくりをお手伝いしたいと思います。



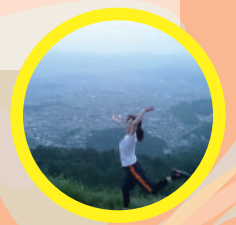
SPECIAL THANKS!

グローバルセンター賛助会員・寄附者（法人サポーター）一覧
2018.8.31時点

アイマーケ株式会社 イワモトエンジニアリング株式会社 株式会社ウエダ本社 株式会社エクザム
株式会社エスユーエス 株式会社大垣書店 小川珈琲株式会社 株式会社片岡製作所
株式会社キャリアパワー 株式会社京写 京都エレベータ株式会社 京都産業大学
京都青果合同株式会社 株式会社京都設備 学校法人京都橘学園 京都橘大学 京都文教大学
株式会社クリアビジョン 医療法人啓信会 株式会社ケービデバイス 株式会社阪口製作所
三洋化成工業株式会社 株式会社GSユアサ 株式会社JTB京都支店 株式会社島津製作所
株式会社松栄堂 セファテクノロジー株式会社 株式会社太鼓センター 大和電設工業株式会社
株式会社田中工務店 株式会社塚腰運送 ツルタホールディングス株式会社
株式会社テックコミュニケーションズ 長津工業株式会社 株式会社長津製作所 株式会社ナベル
NISSHA株式会社 日新電機株式会社 日東薬品工業株式会社 株式会社ノウション
宗教法人野宮神社 株式会社ハッピー 株式会社パルサス バンテック株式会社
株式会社FUKUDA 株式会社フクナガ 学校法人佛教教育学園 株式会社フラットエージェンシー
株式会社ブリッジコーポレーション 株式会社紅中 株式会社細尾 株式会社堀場製作所
株式会社マーケティングプリウス 増田産業有限会社 株式会社宮木電機製作所
宮建工業株式会社 村田機械株式会社 株式会社村田製作所 株式会社メンバーズゴルフサービス
学校法人龍谷大学 株式会社ローバー都市建築事務所 株式会社WorldLink&Company

他2社（五十音順・敬称略）

いつもご支援ありがとうございます！



グローバルセンターの歩み

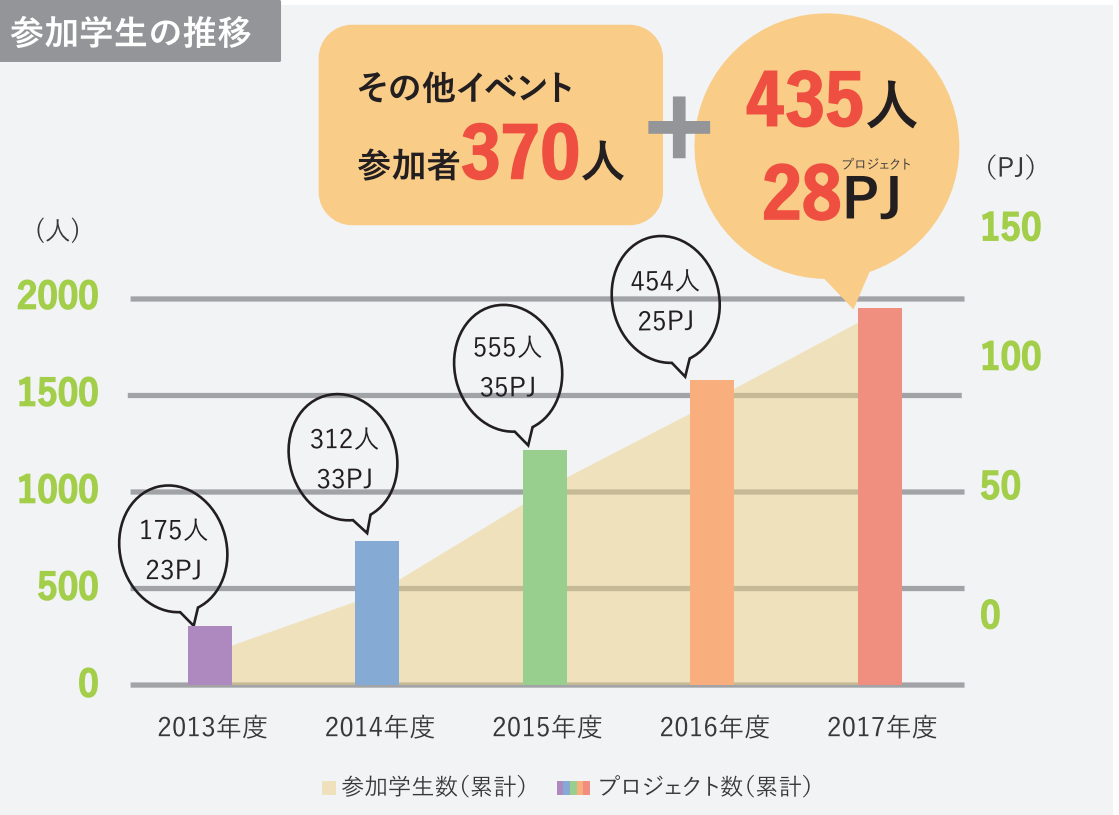
<沿革>

2011年 3月 一般社団法人京都経済同友会提言文書の策定
 2012年 10月 京都経済4団体、企業、大学に所属する16名による発起人会開催
 2012年 10月 産学公連携によるグローバル人材の育成と地域資格制度(GPM)の開発事業開始(文部科学省採択)
 2013年 2月 特定非営利活動法人グローバル人材開発センター 設立
 2013年 2月 設立記念シンポジウム開催 200名参加
 2013年 5月 京都府「京都ギャップイヤー事業」受託(3年間)
 2013年 11月 京都市「『人材育成型』ソーシャルビジネス等育成事業」受託(1年間)
 2013年 12月 国際シンポジウム「OECD-LEEDプログラム協働研究プロジェクト 地域再活性化のためのスキル訓練環境」 共同開催(於:京都)
 2014年 1月 「平成26年度京都府知事選挙啓発業務」受託(2ヶ月間)
 2014年 2月 「第1回グローバル人材フォーラム」開催 250名参加
 2014年 10月 OECD-LORC主催国際シンポジウム「京都アライアンスとレジリエントな都市圏」共同開催(於:フランス)
 2015年 2月 「第2回グローバル人材フォーラム」開催 280名参加
 2015年 5月 京都市「京都企業と連携した次代の京都を担う人材の育成事業」(継続中)
 2015年 5月 京都市「屋外広告物印象評価等調査業務」受託(1年間)
 2015年 11月 留学生の就職・採用支援事業開始(大学コンソーシアム京都協力)
 2015年 12月 職業紹介事業許可の取得
 2016年 2月 「第3回グローバル人材フォーラム」開催 300名参加
 2016年 3月 地域職能資格グローバルプロジェクトマネージャー(GPM)資格発行開始
 2016年 4月 仮認定NPO法人制度における「仮認定」の取得
 〃 京都府「ワーク・ライフ・バランス推進企業宣言」登録
 2016年 6月 賛助会員・寄附募集開始
 2016年 9月 内閣府「地方創生カレッジ事業」受託(2年間)
 2016年 11月 CSOアワード2016 20周年記念特別賞、オーディエンス賞受賞
 2016年 12月 異業種合同研修(GLOCAL SHIFT CAMP)開始
 2017年 1月 経済産業省キャリア教育アワード奨励賞受賞
 2017年 2月 「第4回グローバル人材フォーラム」開催 300名参加
 2017年 3月 産学公連携によるグローバル人材の育成と地域資格制度(GPM)の開発・運用事業
 〃 文部科学省採択期間終了→連携6大学と継続中
 2017年 4月 京都市「来日直後の留学生を支援するウェルカムパッケージ事業」受託(1年間)
 2017年 6月 京丹後市「京丹後未来会議コーディネート事業」受託 (継続中)
 2017年 8月 京都市「留学生の就職支援・マッチング事業」(継続中)
 2018年 2月 「第5回グローバル人材フォーラム」開催 230名参加

2017年度メディア掲載実績(重複を除く)

- ・NHK京都放送
- ・KBS京都放送
- ・フジサンケイビジネスアイ
- ・朝日新聞
- ・毎日新聞
- ・産経新聞
- ・京都新聞
- ・烏丸経済新聞

参加学生の推移



組織概要(平成30年7月現在)

名称	特例認定特定非営利活動法人グローバル人材開発センター
設立	2013年2月15日
スタッフ人数	9名
代表理事	榊田隆之 京都信用金庫 理事長
専務理事兼事務局長	中谷真憲 京都産業大学法学部 教授
理事	植村章弘 京都商工会議所 会員部長・人材開発センター長事務取扱 石津友啓 京都経営者協会 専務理事 豊田博一 一般社団法人京都経済同友会 理事・事務局長 町田徳男 公益社団法人京都工業会 理事・事務局長 田島慎也 京都中小企業家同友会 事務局長 船橋晴雄 シリウス・インスティテュート株式会社 代表取締役 土山雅之 土山印刷株式会社 代表取締役社長 佐野亘 京都大学大学院地球環境学堂 教授 杉岡秀紀 福知山公立大学地域経営学部 准教授 黒宮一太 京都文教大学総合社会学部 准教授 的場信樹 佛教大学社会学部 教授 村田和代 龍谷大学政策学部 教授 前野芳子 税理士法人まへの・前野公認会計士事務所 所長 宮木一平 京都産業大学現代社会学部 教授
監事	

業務内容 GLOCAL人材の育成

所在地 〒602-8061 京都市上京区甲斐守町97番地西陣産業創造会館2F
アクセス 京都市バス「堀川中立売」下車徒歩3分

ホームページ <http://glocalcenter.jp/>
お問い合わせ TEL:075-411-5010 FAX:075-411-5011
MAIL:info@glocalcenter.jp

※2018年4月にオフィス移転しました。

いつも応援ありがとうございます！
引き続きご支援をお願いします。

サポーターになる→

サポーター制度について
詳しくはホームページをご覧ください！



グローバルの「今」は？

#グローバルセンターで検索&投稿!

#投稿・シェア大歓迎!

ホームページ
<http://glocal-center.jp/>



instagram
<https://www.instagram.com/glocalcenter/>



Facebook
<https://www.facebook.com/glocal-centerkyoto/>



twitter
[@glocalcenter](https://twitter.com/glocalcenter)



公式LINE
[@vpq8164z](https://line.me/tv/p/q8164z)

